

地域生活交通に係る調査特別委員会 摘 録

1. 開 催 日 令和8年6月10日（金） 第2委員会室
2. 出席委員 谷口隆明委員長 前田智永副委員長 松本みのり 堀井慎一郎 桜田亮太 堀内富夫
桂藤和夫議長
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 近藤淳議会事務局長 横山和昭議会事務局議事調査係長 佐々木基議会事務局主任主事
5. 説明員 なし
6. 委員外議員 福山権二副議長
7. 傍 聴 者 4名（うち議員 徳永泰臣 國利知史 岡野茂 青山学）
8. 会議に付した事件
1 付託事項の審査について

午前10時44分 開 議

○谷口隆明委員長 ただいまより第5回地域生活交通に係る調査特別委員会を開催いたします。本日の委員会において、傍聴、写真撮影、録画等を許可しています。

1 付託事項の審査について

○谷口隆明委員長 前回5月8日に今後の具体的な調査方向を一定議論しましたが、この前の話に基づきまして、一定の調査方向として地域ケア会議等へ出席する場合の方法について、委員長・副委員長で案を決めましたので、今日はそれをお諮りしたい。それから、具体的にそこで聞き取る内容についてワークシート形式のものを準備していますので、それについて話し合いたいと思いますのでよろしくお願いします。なお本日の資料の中に5月25日に行われました庄原市地域交通会議の資料を参考資料で出していますので皆さん見てください。それでは最初に、地域ケア会議等への説明について。前回、班編成を2人にするか3人にするかということがあったのですが、3名2班編成がいいだろうということでしたので、案として、A班が東城、西城、庄原で、班員が私、堀井委員、桜田委員。それからB班が高野、口和、比和、総領で、前田副委員長、松本委員、堀内委員ということで、提案します。総領につきましては庄原と関連があるので、庄原につけたほうがいいかという意見もあるかと思いますが、その辺は皆さんの御意見をください。それから2点目は、地域別の訪問予定の会議ですけれども、前回も高齢者福祉課からいただいた資料を見てもらいましたが、こういう形で、東城地域、西城地域、庄原地域、いろいろな日程を組まれているので、班で調整して行けるようにしたらと。B班につきましてもそれぞれ会議が予定されていますので、それに出ていくという方向で行いたいと思っています。説明しました1番、2番の点で皆さんからまず御意見をください。

○前田智永副委員長 班編成について、先ほど委員長にも言っていただきましたが、総領と庄原をつけたほうがいいのではないかという御意見もあるかと思います。それから、東城と庄原については地域が広いので、1か所ずつ、もしくは2か所あげていますが、会議だけでいいのかというところ

も含めて進めていかなければ分からないところも非常に多くあるかと思うので、現段階で高齢者福祉課との協議の中でここがいいのではないかと保健師さんからも御意見いただきながら挙げています。たちまち編成をして、また順次進めながら柔軟に対応ができたらいいいのかなと思っていますので、追加しておきます。

- 谷口隆明委員長 皆さんイメージは湧きますか。基本的には出身地域を中心にしていきますので。
- 堀内富夫委員 これで進めていただいていいと思います。
- 谷口隆明委員長 少し時間をとりますので、よく見ていただきまして。
- 松本みのり委員 今回の聞き取り調査に関して地域交通課とのすり合わせというか、こういった内容で回ってみようと思うのですけれどもという話をされているかどうか。もしされていなければ、地域交通課としてもいろいろヒアリングしたり、こういう方針でいこうというのがあると思うので、そこで足りない部分を少し付け足して聞かせていただく等でできればと思うのですが、いかがでしょうか。
- 谷口隆明委員長 地域交通課の担当課長等と先日かなり綿密に話をいたしまして、これまでの地域交通課での取組と、それから議会が地域交通課ではできないなかなか細かいところ、特にこういう困っておられる方とか実際に福祉関係でいろいろな要望があるという細かいことについて十分調べられていないので、議会では、どこに住んでいても安心して暮らせる交通体系ということで、それをカバーする意味で今回担当課とすり合わせた上でこういう方向を行うことにしています。担当課とは常に意思疎通を図りながら進めていきたいと思っています。そのほか何かございますか。併せて3番目の、今後のスケジュールについて、5月に地域ケア会議等の保健師さんにこういうことで議員が特別委員会で皆さんに御意見聞きたいという趣旨説明をしていただいています。それから6月で日程調整、7月から具体的にヒアリングを開始していきたいと思います。大体毎月、西城地域であれば、介護専門員の連絡協議会が月1回あるということなので、日程調整して行ったり、庄原地域であれば、圏域のケア会議が8月8日にあるので、それに合わせて行くとか。高野地域では、毎月基本25日に協議会が行われているので、それに参加するかということで、それぞれ7月からその地域のケア会議等の日程に合わせて、聞き取りの調査に伺うようにしたいと思います。これも併せて皆さんから御意見をください。それでは一旦置いておいて、次に資料2で、地域生活交通調査特別委員会ヒアリングシート案をつくっています。このシート案につきまして、去年の特別委員会ではタクシー交通業者等の聞き取りをしてこちらで全部書いたのですけれども、業者との思いが違ったということもありますので、できるだけアンケート形式にやってもらうか、あるいはこちらでまとめたものを確認してもらうか、何かきちんとしないといけないとは思いますが、こういう形で聞き取り調査をしたらどうかと。前回の方向性として、救急搬送後などの夜間の帰宅困難についてという問題を1点目に取り上げました。それから2点目に、通院、買物、既存交通の使い勝手についてどうだろうかという点。それから3点目に、地域で使われている福祉車両等で有効活用できないかということ。その他ということで地域ケア会議にも問題提起しているのですけれども、この項目に沿ってそれぞれ実態を調査するという形でヒアリングシートをつくっていますが、もっとこういうことを聞いたほうがいいのではないかとか、あるいは皆さんいろいろな御意見あると思いますので、これもゆっくり時間をとりますので見ていただきまして意見をください。このヒアリングシートは副委員長につくっていただいていますので、補足説明が何かありましたらよろしくお願いします。
- 前田智永副委員長 作成に当たって、これまでの委員の皆さんの御意見もなるべく入れるように作成

をしてみました。簡単な2ページにしてありまして、特にテーマ3はもう1項目のみの記述をしていただくようになっているのですが、できるだけこのヒアリングシートを書いていただくのに時間を使いたくないという思いがありました。せっかく議員が自ら出向いて、そこで相對して直接お話を聞くということを大事にしたいので。先ほど委員長に言っていたように、齟齬があつてはいけません。前回は聞き取りだけをメインにしてこちらで書いたのですが、事業者さんからそういうことではないとか、これが違うとかということが実際にあったので、そういうことはできるだけ避けたいと思っています。よく分かっていらっしゃる地域の方に書いていただくのだけれども、大体のことを書いていただいて、あとは聞き取りを重視していきたいなど。この意見をもとに、それ以上に話をしっかりとできたらいいのかなという思いで、こういった小問を設定させてもらいました。最初の注意書きのところで、個人が特定される情報は伏せて御記入くださいと書いてあるのですが、この当初の目的として、可能か不可能か分かりませんが、どこの地域のどの字の誰が困っているのかというところまでできれば抽出できたほうが、ここのこの人が困っているとかその近くに誰がいるというところが分かれば、地域交通課に提言をしていくにあたってしっかりと具体的な提言ができると思います。公表はしないけれども、聞き取りの中でできる範囲でしていけたらいいのかなと思っていますので、追加して補足しておきます。

○堀井慎一郎委員 先ほどの各地域への聞き取りのスケジュール案でもなるべく短い時間でやってほしい。本来業務をやられる会議の中でもありますので、短い時間でそういう話をしようとする、ある程度このヒアリングシート、事前にお渡しをしておいて、その日までに事前に記入をしておいていただいて、それをたたき台に追加の質問をこちらからするという形で、できるだけ短時間で中身のある聞き取りができるのかなと思います。先ほど個人が特定される情報を伏せてくださいという部分については、逆にいただいたものをこの特別委員会としてしか使いません、外に出すようなことはありませんという記述に変えておけば、ある程度、委員会の中では、そういう個人を特定できるようなものが出てきたとしても、外には出しませんという形もあるのかなと思いました。シートの内容については、あまり入れても書くのは大変になるので、ある程度要点を絞ったこのぐらいの量でいいのではないかなと思います。

○谷口隆明委員長 ただいま堀井委員から、確かに事前に渡しておいて書いてもらうことをすれば時間が短時間でもしっかり話が聞けるのではないかと。その場で話を聞きながら書いてもらったりしていたら、本当にこれを書くことに精いっぱいになってもいけませんので、そういう方向がいいと思いました。それから、確かにこの個人情報につきましてはこの特別委員会だけで口外しないとかそういうことを書いておけば安心して書かれるという面があるかと思っていますので、そういう方向でやったらどうかと思います。他に何かございますか。

○松本みのり委員 福祉車両等の有効活用についてなのですが、私もまだいろいろ知識が不足していて、例えば福祉車両とかこの時間帯空いていますよとなったときに、ドライバーさんはどういう方が想定できるのかというのを、心構えをしておかないと。こう書いてはいただいたけれども、実際にどう使えるというのが分かっていないとよろしくないなと思いました。

○谷口隆明委員長 大きな問題だと思いますので、運転手も確保できるかどうかということも含めて、関係者の皆さんの意見を聞くということで。こちらで今こういう案があつて、こういう場合はということ実は持っていないので、活用するということと、活用するとすれば、ドライバーはどうなるか

という、その問題点も含めて、関係者の声を聞くと思っていました。なかなか今、私でそこまでは。

○前田智永副委員長 福祉車両については、ドライバーは基本的に誰でもいいので、御本人が御家族を指名されるのか、近隣の友人、知人に指名をされるのかというのはもう本当に使う方の自由といえますか、そういった要件にしてあります。そこをこちらから困ってないですかと言っても、例えばこうなっているけれども、こういう人に運転をしてほしいとかという要望があるのであれば、それは要望として聞いて帰らせてもらうのはいいと思うのです。使ったことがない人に案内をする場ではないかなと思うので、そこは議員として知っておいて伺うというのはもちろん当たり前のことなので、しっかりと勉強しながら向かっていければいいのかなと思います。

○松本みのり委員 何をしたいか、いけないかというのが分かっていたので、誰が運転しても大丈夫というのが知識として分かっていたら安心できると思います。

○前田智永副委員長 先ほど自治振興区とかに、ほかのヒアリングに回っている状況のことを少しお伺いがあったかと思って、前回の委員会でも委員の中からそういった声があったので、これまでの地域交通課のヒアリングの中で全自治振興区を回られています。調査結果を共有していただけないかと話をしに行ったところ、ホームページに公表してありました。これが地域交通課の第2期庄原市地域公共交通計画の資料編ですけれども、その資料編の中に、大まかな地域ごとのヒアリングの結果があったので、そこを教えていただきましたので共有しておきます。これも事前に委員で各自見ておいてから伺ったほうがいいのかなと思うので、お知らせしておきます。ホームページで公表しているので、市民も誰でも見られる状況にはなっていますが、紙ベースで欲しいという方には、担当課でお渡しできるように持っていますと伺っています。ただここで共有をして全員が見ていくと思うので、ここへどのように載せるかは事務局とは相談は必要かとは思いますが。皆さんで共有できる方法はあるかなと思うので、紙ベースで欲しい方はまたそれを言ってください。

○谷口隆明委員長 高校生の声、大学生の声、それから地域の手を全部まとめているのですよ。第2期の地域別計画をつくるに当たって。ですから、このタブレットに共有するか、あるいは紙ベースで何冊かもらってくることは可能だと思います。

○前田智永副委員長 資料編については、全体で65ページあります。目次としては、市民アンケート、高校生アンケート、大学生アンケート、交通事業者、地域別という項目分けをしてありまして、地域別については10ページ程度かとは思いますが、全体的に見ておいたほうがいいと思う。この65ページを全員が全員、紙で欲しいかというとう違うと思うので、紙で欲しい方は別で言うていただければ。個別に行くとう大変だと思うので、こちらでまとめてさせてください。後ほど事務局と相談をして、どのように掲載をしていくかというのは、紙ベースではなくてもこのタブレットのでできるので、また共有して皆さんにお知らせしたいと思います。

○谷口隆明委員長 それではこれまでのところで大体、今後の活動方向をイメージできましたでしょうか。

○桜田亮太委員 A班B班の各日程に合わせての協議は各班で話して、担当の会議の人とのやりとりのところは、このA班B班おのおので今後会議をしていくということですか。

○谷口隆明委員長 日程調整をしていただく。

○桜田亮太委員 であれば、私は以上で大丈夫です。

○谷口隆明委員長 事務局で何か気づきがあれば。よろしいですか。皆さんもこれでよろしいですか。

○前田智永副委員長 この後すぐにでもA班B班それぞれに話をしたほうがいいのかなと思うのですが、どのように協議を始めるかというところも含めて、担当の方とおのおのお話をさせていただき、に当たって、例えばこの会議の誰に連絡をしたらいいのかというところにまずつまづくと思う。その辺りの連絡先といいますか、どこ窓口にするのかというのは、もう少し高齢者福祉課の協力も得ながらしていきたいと思うので、早急にそこは皆さんにお示しできるようにしたいと思います。そこから、協議を担当の方としていただくのですが、日程についてはここに記載をしていますとおり、すぐ月ごとに何日に開催とか、第何曜日に開催とかいうところもあれば、次いつやるか分からないというところもあるので、例えばもっと遅くに10月とか11月とかに開催というところも想定されると思います。その辺りについては、この会議で共有しながら、そこを目標に何うことにはするけれども、すぐには行けませんということが共有できればいいのかなと思うので、その辺りのことは進めながら共有していきたいと思います。

○谷口隆明委員長 それで皆さん大変御苦労さまでした。一応全体の委員会はこれで閉じさせていただきます。終わった後は班に分かれて、今後のスケジュール等について打ち合わせをしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

午前11時13分 散 会

庄原市議会委員会条例第30条の規定により、ここに署名する。

地域生活交通に係る調査特別委員会

委 員 長